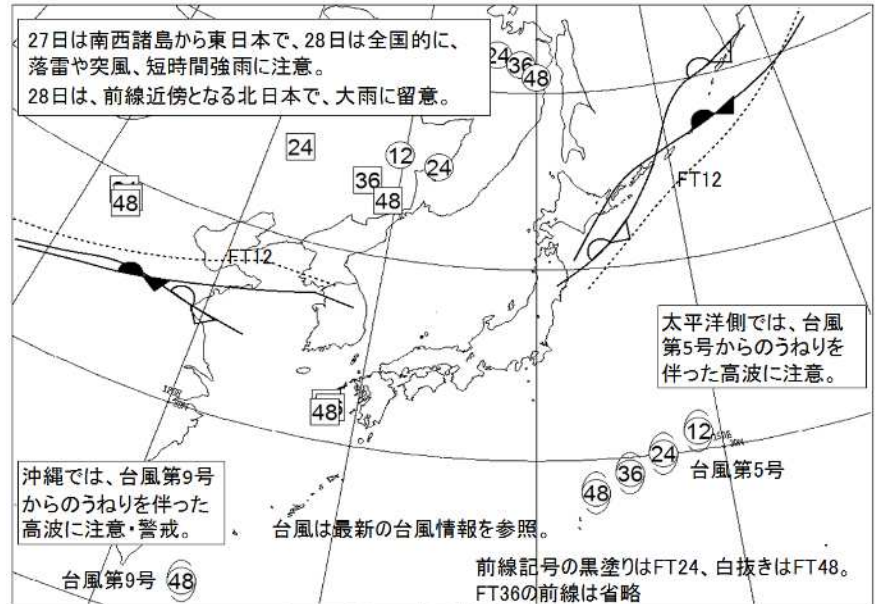


### 1. 実況上の着目点

- ①本州付近の前線は、上空がリッジ場となり不明瞭となる傾向だが、西日本から東海地方には下層の暖湿気が流入し、09 時の高層観測では西日本から東海地方で850hPa 相当温位 350K 以上を観測。西日本の山沿いを中心に局地的に対流雲が発達。30mm/h 以上の激しい雨を解析し、発雷を検知。
- ② 先島諸島付近に 300hPa で -28℃以下の寒気を伴う寒冷渦があって北西進。先島諸島の周辺では、発達した対流雲が散在している。



主要じょう乱解説図

- ③ 強い台風第5号が日本の東にあって西進している。また、台風第9号がフィリピンの東にあって北北西進。南西諸島から北日本の太平洋側の波の周期は10秒以上となり、台風からのうねりが到達している。
- ④ 中国東北区に500hPa5700m付近のトラフがあって東進している。衛星水蒸気画像では暗域が明瞭。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 1項①の前線は、27日夜には本州付近では不明瞭となるが、西日本・東日本には、28日にかけて850hPa 相当温位 345K 以上の下層暖湿気が滞留する。日中の昇温や下層風の収束により対流雲が発達する所があり、西日本・東日本の内陸や山沿いを中心に、落雷や突風、短時間強雨に注意・警戒。
- ② 沖縄地方では先島諸島を中心に、27日夕方までは1項②の寒冷渦の影響により、28日からは1項③の台風第9号周辺の下層暖湿気の影響により、大気の状態が不安定となる。落雷や突風、短時間強雨に注意。
- ③ 南西諸島から北日本にかけての太平洋側では、台風第5号・第9号からのうねりが入り、28日からは関東・伊豆諸島・小笠原諸島でしけとなり、29日は先島諸島や小笠原諸島では大しけとなる見込み。うねりを伴った高波に注意・警戒。
- ④ 1項④のトラフは28日夜から29日はじめにかけて、北日本に接近し通過する。北日本では前線が西進し、太平洋側に下層暖湿気が流入する。28日の午後を中心に、落雷や突風、短時間強雨に注意し、激しい雨や非常に激しい雨による大雨にも留意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点

- ①総観場は最新GSMを基本とするが、雨の分布・強度は、MSMを参考とする。

### 4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]

- ①大雨ポテンシャル(18時からの24時間)：九州南部・北海道100mm。2項の短時間強雨に注意。
- ②波浪(明日まで)：沖縄・関東・伊豆諸島・小笠原諸島4、北海道・東北・東海3m
- ③高潮(明日まで)：大潮の時期。北日本太平洋側や西日本で、注意報基準に接近する所がある。